

## 2018年度の事業報告書

2018年4月1日から 2019年3月31日まで

特定非営利活動法人フォーラムひこばえ

- 1 2018年度は、法人事務局体制の整備が主な目標であった。事業規模の拡大から、要になる事務局体制の整備が不可欠だったからである。

昨年掲げた目標は以下のとおりである。

2018 目標1「法人事務局の体制を強化し、会計、労務、広報、などの業務を滞りなく行う。」

目標2「法人の課題を可視化し、施設長を中心とした管理職と役員で改善していく」

目標3「法人の中長期計画を明確にし、職員が一丸となって取り組めるように図る。」

目標4「法人の活動を知らせていく活動として、広報活動の充実を図る。」

目標5「中長期計画の実施のため、経営安定を図る」

これらの目標を達成するため以下のことを行った。

①法人事務局スペースの確保を行った。

②職員間連絡システムとして、全常勤職員にGmailアドレスを付与し、連絡調整、報告などをしやすく整備した。また各種会議日程を年間で決めてしまっていて開催し、会議報告書を一斉メールで共有するようになった。

③利用者ニーズにこたえ、かつ経営安定をはかるため、2018年8月に放課後くらぶひこばえふう、同年11月に生活介護であるひこばえmeの開設をした。

④広報委員会の設置により、広報活動を法人全体で行うようにした。

設立から15年経ち、職員集団が大きくなるにあたり、法人のミッションを受け継いだり、地域住民の関りを受け入れる余裕が少なくなっているように感じる。地域住民とともに歩む運営、ともに成長することが本来目指すものではないかと考える。ひこばえの歩んだ道が、今後引き継がれていくよう、ひこばえの趣旨に立ち返り、業務の中にコミュニティづくりの観点を入れていきたいと考えた1年であった。

## 2 事業の実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位： 千円)
<p>地域住民への生活支援を通し、地域住民の相互関係や地域福祉に対する関心を高める取り組みを行う事業</p> <p>地域住民の集う場所を提供し、地域住民の相互関係や地域福祉に対する関心を高める取り組みを行う事業</p> <p>地域福祉向上のため調査、研究、提言を行う事業</p>	<p>会食会 サロン活動 地域の仲間作りを目的としたサークル活動</p> <p>ひこばえまつり 春を呼ぶもちつき</p> <p>* 新規事業 就労継続B型 事業準備</p>	<p>毎週金曜日 月～土随時</p> <p>場所 フォーラム ひこばえ 従事者 2人(兼務)</p> <p>年1回 年1回</p>	<p>どなたでも</p>	<p>11,736 千円</p>
<p>児童福祉法に基づく児童厚生施設の設置運営 (うたの・ひこばえ児童館事業)</p>	<p>京都市児童館指針に基づく事業展開</p>	<p>学童保育 月～土 放課後～18時半 学休期間は8時～18時半 場所 うたの・ひこばえ児童館 従事者 6人</p> <p>児童館事業 0～18歳までの児童とその保護者が集い、学び、つながれる場</p>	<p>0歳～18歳の児童及び保護者</p>	<p>29,087 千円</p>
<p>児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 (放課後くらぶひこばえ事業)</p>	<p>児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 放課後等デイサービス事業</p>	<p>月～金 13時半～17時半 土曜 10時半～17時半 場所 フォーラム ひこばえ</p>	<p>小学校1年生～18歳までで受給者証の発行された方</p>	<p>36,878 千円</p>

		従業者 8人		
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業 (就労支援事業所ひこばえ・ひこばえ me 事業)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく就労継続支援 B 型事業及び生活介護	月～金 9時半～16時 場所 エバーコーヒー他 従業者 3人	18歳以上で、受給者証が発行され利用を認められた方	17,361 千円